



発行所：日本合板商業組合

〒101-0045 東京都千代田区神田錦治町3-5-4

TEL：03-5256-9080

<https://www.nichigoshonet/>

e-mail：jpwa@oboe.ocn.ne.jp

Japan Plywood Wholesalers Association

TOPIC 1 | 住宅ローン減税、子育て世帯に限り借入限度額を1年間据え置き

自民、公明両党は、令和6(2024)年度の与党税制大綱を決定した。子育て世帯・若者夫婦世帯に限り、住宅ローン減税の借入限度額の引き下げを1年間据え置く。また、子育てに対応した住宅へのリフォームに係る所得税の特例措置を新たに講じる。

住宅ローン減税は、2022年度の税制改正で見直され、控除率が0.7%になるとともに、段階的に借入限度額を縮小することになっている。新築・買取再販の借入限度額は、2024年からは長期優良住宅・低炭素住宅は4500万円、ZEH水準省エネ住宅は3500万円、省エネ基準適合住宅は3000万円、それ以外の住宅は0円へと引き下げられる。

この住宅ローン減税について、子育て世帯・若者夫婦世帯(「19歳未満の子を有する世帯」又は「夫婦のいずれかが40歳未満の世帯」)に限り、1年間据え置くこととした。具体的には長期優良住宅・低炭素住宅は5000万円、ZEH水

省エネ性能に応じた住宅ローン減税の借入限度額の引き下げ

		2022(R4)年	2023(R5)年	2024(R6)年	2025(R7)年
控除率:0.7%					与党大綱 R7年度税制改正にて R6と同様の方向性で検討
借入限度額	長期優良住宅・低炭素住宅	5,000万円		4,500万円 子育て世帯・若者夫婦世帯* :5,000万円【今回改正内容】	4,500万円
	ZEH水準省エネ住宅	4,500万円		3,500万円 子育て世帯・若者夫婦世帯* :4,500万円【今回改正内容】	3,500万円
	省エネ基準適合住宅	4,000万円		3,000万円 子育て世帯・若者夫婦世帯* :4,000万円【今回改正内容】	3,000万円
	その他の住宅	3,000万円		0円 (2023年までに新築の建築確認:2,000万円)	

*「19歳未満の子を有する世帯」又は「夫婦のいずれかが40歳未満の世帯」

準省エネ住宅は4500万円、省エネ基準適合住宅は4000万円となる。2025年については、同様の方向性で議論し、措置を決定する。

なお、合計所得が1000万円以下の世帯などについては、新築住宅の床面積要件を50㎡以上から40㎡以上に緩和する。

TOPIC 2 | 窓は気候風土、設置場所で選ぶ時代に

開口部メーカーの窓選びの新たな提案が相次いでいる。

LIXILは断熱性能だけでなく、地域の気候風土を踏まえて総合的に環境負荷を低減する新たな提案「GREEN WINDOW」を打ち出した。

「GREEN WINDOW」は、断熱等性能等級6以上の住宅に提案できる断熱性能を持ち、地域に最適な日射熱取得率を持ったもの。かつ、アルミ型材リサイクル率70%以上もしくは樹脂型材の社内リサイクル率100%のもので、分離解体のしやすさに配慮した窓を指す。窓の省エネ性能だけでなく、製造や廃棄の面から環境負荷の小さな窓を選ぼうという提案だ。まず、「GREEN WINDOW」として樹脂窓の「EW」、高性能複合窓の「TW」を設定した。

具体的には、独自方法によるライフサイクルアセスメント(LCA)を踏まえ、地域ごとに最適な窓を提案する。

LCA評価は外皮性能計算ツール「LIXIL省エネ住宅シミュレーション」の追加機能として来春に実装。住宅事業者は評価結果を用いて施主に説得力ある説明を行える。

一方、YKK APは、先に高性能トリプルガラス樹脂窓「APW 430」に「日射取得型ダブルLow-Eトリプルガラス(クリア)」仕様を追加発売すると発表した。このラインアップ拡充を通して、窓の方角に応じてガラスの種類を使い分ける提案を強化する。南面に日射取得率の高いガラスを設置し、東西北面は夏の西日を遮り冬の熱の出入りを抑える日射遮蔽型のガラスを設置する。

今知りたい情報がここにある

住生活産業のための
情報プラットフォーム

Housing Tribune Online premium

ハウジングトリビューン オンライン プレミアム

<https://htonline.sohjusha.co.jp/premium/>